

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(地域公共交通調査等事業)

令和7年2月25日

中国運輸局

評価対象事業名:地域公共交通バリアフリー化調査事業(移動等円滑化促進方針策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画等の策定に向けた方針、又は事業の今後の改善点	評価結果	
鳥取市移動等円滑化協議会	<p>【事業内容と結果の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者や施設管理者へのヒアリング調査 ⇒令和5年度に引き続き生活関連施設や経路の管理者と調整を行い、特定事業やその他のソフト施策、関連施設について整理するとともに、継続取組方策等についての整理を行い、取りまとめた。</li> <li>・バリアフリー点検(まち歩き点検)の実施 ⇒本市のバリアフリー化に関する問題点等を整理するため、関係者団体や施設管理者等で合同の現地調査を行い、鳥取大学前駅及び生活関連施設並びに生活関連経路の課題を把握し、現地調査で確認された意見を交換して、課題の把握・改善案を取りまとめた。</li> <li>・協議会等の開催 ⇒有識者や関係団体、交通事業者団体等から構成される協議会において、第7回協議会の運営支援や必要な資料作成・とりまとめを行い「鳥取市バリアフリー基本構想(素案)」を作成した。今後はパブリックコメントの意見を踏まえて第8回協議会を開催し、原案を最終的に取りまとめる。</li> <li>・パブリックコメントの実施 ⇒これまでの協議会での意見等を踏まえて取りまとめた「鳥取市バリアフリー基本構想(素案)」を広く市民等の意見を反映させるため市民政策コメント(パブリックコメント)を実施中であり、期間終了後速やかに意見等を取りまとめ、鳥取市バリアフリー基本構想の原案へと取りまとめる。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年5月から令和7年2月(予定)に、バリアフリー基本構想策定に向けた調査検討業務を実施し、令和6年度末に鳥取市バリアフリー基本構想の策定を行う予定。</li> <li>・全市域において、ユニバーサルデザインの考え方に基づいた整備・取組を展開。特に鳥取駅・城跡周辺地区及び鳥取大学前駅・湖山駅周辺地区を重点整備地区とし、重点的かつ一体的なバリアフリー化を推進する。</li> <li>・令和7年度以降は、協議会を中心として特定事業等の進捗管理を行い、バリアフリー基本構想策定後概ね5年後の見直しを予定し進捗管理を継続していく。</li> </ul>	<p>事業が計画に位置付けられたとおり適切に実施されている。</p> <p>バリアフリー基本構想策定に当たっては、公共交通機関、公共施設にとどまらず民間施設も含めて、生活関連施設としており、施設設置管理者へ丁寧なヒアリングを行い、特定事業等を位置づけており、評価できる。</p> <p>また、令和7年度以降は、協議会を中心として特定事業等の進捗管理を行い、バリアフリー基本構想を概ね5年後に見直すこととされており、構想が形骸化せずバリアフリー化が促進することを期待する。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(地域公共交通調査等事業)

令和7年2月25日

中国運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通バリアフリー化調査事業(移動等円滑化促進方針策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画等の策定に向けた方針、 又は事業の今後の改善点	評価結果	
里庄町バリアフリー推進協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現況調査</li> <li>・基本構想(案)の作成</li> <li>・協議会の開催</li> <li>・パブリックコメントの実施</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民や駅利用者の意見を反映させるためにアンケート調査を実施し、幅広く意見や情報の聞き取りを行い基本構想に反映させた。</li> <li>・里庄町の現況の把握と基本構想の位置づけを行い、里庄駅周辺地区を重点整備地区として設定し、また、生活関連施設と生活関連経路の設定、実施すべき事業の検討を行い、基本構想(素案)を作成した。</li> <li>・第1回協議会でバリアフリーに係る現状、課題と基本方針等について、第2回協議会で基本構想の骨子案の検討、まち歩き点検ワークショップを行い、第3回協議会で基本構想の素案について協議した。</li> <li>・パブリックコメントについては、12月20日～1月10日の期間で町ホームページに掲載し、実施。</li> <li>・今後、パブリックコメントの意見を取りまとめ、第4回協議会にて基本構想を最終的にとりまとめる予定。</li> </ul>	A	<p>里庄町の交通結節点である里庄駅を中心とした徒歩圏内の地区を重点整備地区に設定し、駅周辺の生活関連施設や生活関連経路を特定事業に位置づけ、駅のバリアフリー化と併せて周辺施設を整備する。なお、鉄道駅総合改善事業等の活用を見込んでいる。</p>	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。</p> <p>基本構想ではJR里庄町駅を中心に設定した重点整備地区を対象に、まち歩き点検ワークショップで地域住民の意見等をふまえ、実施すべき事業を定めたものになっている。</p> <p>また、施設のバリアにとどまらず、心のバリアフリーや情報のバリアフリーの推進も図っており評価できる。</p> <p>里庄町の交通結節点である里庄駅を中心とした重点整備地区内において、一体的なバリアフリー化の実現を期待する。</p>	